

令和4年度ボランティアスクール実施要項（案）

1. 目的

ボランティアスクールは、金ケ崎町内の小・中・高等学校が取り組む福祉教育に協力し、児童・生徒を対象とした福祉体験学習を実施することで、高齢者や障がい者に対する理解を深め、福祉・ボランティア活動への関心を高めることを目的とします。

2. 主催

金ケ崎町内小学校5校、金ケ崎中学校、金ケ崎高等学校
社会福祉法人金ケ崎町社会福祉協議会

3. 実施内容

(1) 福祉施設交流・介助体験

福祉・保育施設を利用する高齢者、障がい者、幼児との交流・介助等体験の実施。
過年度、小学校は交流体験、中・高校は保育・介助体験に取り組みました。
希望内容に応じて町内の高齢者、障がい者、保育施設の手配を行います。

(2) 福祉体験学習

福祉用具や手話・点字等についての学習を通して、高齢者や障がい者の理解を深めます。
福祉用具を用いたキャップハンディ体験（高齢者疑似体験、白杖体験、車イス体験）、手話や点字などの学習教室の2項目が主な内容となっています。

4. 実施期間

(1) 福祉施設交流・介助体験

冬期は感染症が流行する可能性がありますので、6～11月で日程調整をお願いいたします。
保育園は行事の関係があるため、要相談となります。

(2) 福祉体験学習

キャップハンディ体験、学習教室ともに5月～11月で日程調整をお願いいたします。
人数・内容によりませんが1～2時間程度となります。

5. その他

・感染症発生など、諸事情により変更又は中止させていただく場合があります。

6. お問い合わせ先

社会福祉法人金ケ崎町社会福祉協議会（担当：佐々木）
〒029-4503 金ケ崎町西根南羽沢 43
TEL：0197-44-6060 FAX：0197-44-6106

ボランティアスクール実施の流れ

(1) 福祉協力校担当職員連絡会議にて実施内容・日程の調整

日時： 令和4年4月

場所： 金ヶ崎町福祉センター



(2) 受入施設・講師の手配

計画書を基に受入施設、講師の手配、調整を行います。手配ができしだいご連絡いたします。



(3) 事前打ち合わせ

1週間前頃に日程、内容についての打ち合わせを行います。

キャップハンディ体験で使用する機材を事前運搬する場合があります。その際は保管場所の確保をお願いいたします。

また、外部団体の施設利用があるときは、周知のご連絡をお願いいたします。



(4) 当日

① 福祉施設交流・介助体験

受入施設までの児童・生徒の送迎は、福祉バスを利用することができます。

対応の仕方や施設内での振る舞いなど、必ず職員の指示に従って、怪我や事故に注意して活動に取り組むようにしてください。

② 福祉体験学習

保管をお願いしています機材には、体験学習が始まるまで触れないようにしてください。

講師の指示に従い、怪我や事故に注意して活動に取り組んでください。